



主 内容

- 1~2……名張の地で近大高専始動。どんな学校なのかご紹介
- 3……ひまわり、かがやき催物、やなせ宿催し、リバーナホール催物
- 4……名張クリーン大作戦2011、チャッパ車を導入

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp



■ **移転についての思いは?**
熊野で廃校問題が持ち上がった中、平成12年度以降、トップ企業にいた先端技術者や多数の特許取得者といった教員の新規採用や学科再編などの改革を実施。入学生が倍増したものの、地元の少子化の影響は大きく、定員を充足することが難しくなっていました。そんな中、名張移転が決まったわけですが、まずは、学校を存続できてほっとしています。もちろん、今後もしろんなことに挑戦し

も明るくて広いです。実験棟の建設やスポーツ施設の充実などもしましたが、この校舎は全国の高専の中でもトップクラス。学生がのびのびと学習できる重要な要素だと思っています。

■ **学校の特徴は?**
学校では、実践的な工学教育に加え、「知徳体」のバランスの取れた技術者の育成を目指しています。平成17年には教育プログラムがJABEE(日本技術者教育認定機構)の求める国際的教育水準にあると認定されています。クラブ活動も活発で、文化・スポーツともに全国的に評価を得ています。また、校舎がきれいになったので、学生も喜んでいきます。図書館も明るくて広いです。実験棟の建設やスポーツ施設の充実などもしましたが、この校舎は全国の高専の中でもトップクラス。学生がのびのびと学習できる重要な要素だと思っています。

近大高専の神野稔校長に伺いました。近大高専はどんな学校? 名張への思いは?



名張の地で、近大高専始動。

皇學館大学名張学舎跡に、4月8日、近畿大学工業高等専門学校(近大高専)が熊野市から移転開学。新入生と在校生の約600人とともに新たなスタートを切りました。今号では、近大高専の校長に学校や名張への思いを伺うとともに、近大高専とはどんな学校なのかをご紹介します。

岡 総合企画政策室 ☎63・7389

■ **地域とのかわり?**
現在、地元企業を訪問させていただいていますが、まずは、企業との研究開発を進めていきたいですね。例えば、いま原発の問題が注目されていますが、新エネルギーの分野は今後伸びていくはず。高専の教員のレベルは高く、その頭脳はもちろん、学校の設備も存

■ **名張の印象は?**
周辺には工業団地があり、産官学共同研究の推進、工場見学、学生のインターシップ、地元への就職など高専の立地場所としては申し分ない。また、交通の便がよく、通勤、通学、対外的研究発表、対外試合なども便利に。近畿大学本部との関係も密になるので、名張市にも貢献できることが出てくると思います。

■ **名張への思いは?**
分には活用いただきたい。企業の側からも、学生は思い切ったことを考えるのではという期待をいただいています。また、名張には大阪などの企業で研究の第一線でお勤めいただいていた逸材が多く、大変心強い。非常勤講師にいたっては8割以上が名張の皆さんです。そのほか、学園祭などの学校行事を住民参加型のものとし、ものづくりの楽しさを子どもたちに伝えたり、地域の皆さんの活動発表の場としていただいたりしていきたいですね。また、震災問題、エネルギー問題、環境問題などの公開講座も開きたい。市民公開型の単位認定講座もあってほしい。

このように、企業をはじめ、地域の皆さんに開かれた学校として、名張市の活性化にも役立っていただきたいと考えています。

右は「高専ロボコン2010」に出場したロボット。その名も「ザ・引越し」。2足歩行ロボットが、乗り物に乗った人をゴールまで運ぶ速さを競うコンテストで、近大高専の熊野市から名張市への移転を題材に。ゴール前で使用する鍵に名張市の市章などを描き、新たな校舎に入っていく様子を表現。近畿地区大会でデ

ザイン賞に輝きました。このロボットを設計したのは、小方孝太さん(4年/写真左)。三輪晃大さん(2年/写真中央)と、諏佐南津樹さん(2年/写真右)はパーツづくりを担当。「熊野から離れるのはやっぱり寂しいけれど、新しい校舎での生活には期待感があります」と話してくれました。



二足歩行ロボット「ザ・引越し」
高専ロボコン2010に出場



そもそも高等専門学校ってどんな学校?

高等専門学校(高専)は、中学卒業後5年間の一貫教育で、準学士の学位を得られる学校です。高専卒業後は、企業などに就職するほか、大学3年生への編入学や高専専攻科へ進学しています。

高専の歴史は、高度成長期、技術者が不足しているという産業界の要請により、昭和36年に5年一貫の高等専門学校(高専)制度が制定され、昭和37年に全国に国公私立の高専が設置されたことに始まります。

この制度制定にかかわったのが、当時、国務長官で科学技術庁長官、経済企画庁長官であった世耕弘一(近畿大学初代総長・理事長であり、近畿大学の併設校として熊野高専(現在の近大高専)を設置しました)。

地域の産業との研究実績は?

平成15年に、近大高専における研究活動をベースとする民産学官の連携・交流を円滑に推進するための組織「リエゾンセンター」を設置。産業界などから近大高専へ、あるいは近大高専から産業界などへアクセスする際の窓口となるものです。

熊野市周辺では、「高菜生産省力化」「那智黒石製品開発」「光応用技術」など、地域の産業と連携して地域の活性化に貢献してきました。

何を学んでるの?

全員が総合システム工学科に入学、まず1,2年次で工学基礎共通科目と実験・実習を履修します。もちろん英語・数学・芸術などの一般教養科目も学びます。

3年進級時に4コース(機械システム、電気電子、情報コミュニケーション、都市環境)から専門コースを選択し、3,4,5年次ではそれぞれの専門工学分野の知識・技術を学びます。

本科卒業後、専攻科に進めばハイレベルな授業を少人数クラスで受けることができ、学位授与機構の一定の審査を経ることにより大学卒の資格(学士)が取得できます。



どんな学校かご紹介します

近大高専

近大高専移転開学記念

催し 民産学官連携推進のための「近大高専 学校紹介」

機械や電気電子、情報、都市環境(土木・建築)、物理、化学などの理工学分野のほか、英語や国語などを専門とする教員が研究内容などについて分かりやすく揭示するほか、ロボコンなどのものづくり活動やクラブ活動などもご紹介します。 ※申込不要

日時 5月25日(水)午後3時~5時

場所 近大高専 体育館ほか

※同日午後5時から懇親会を開催します。

前日までに、近大高専リエゾンセンター(☎41-0111)へお申し込みください。



近畿大学工業高等専門学校 所在地:春日丘7番町1番地 ☎41-0111

クラブ活動が活発です!



昨年の全国高専体育大会で野球部が優勝。バスケット部が準優勝するなど、全国レベルの体育系のクラブ活動から、ソーラーカーや1ページに登場のロボット技術部など、専門性を生かした文化部、地域活性化のためのイベントボランティア、サイエンススクールの指導員などの活動を行うボランティアグループまでさまざまなクラブ活動が活発に取り組みられています。



生徒数などの基本情報

生徒数…608人。なお、今年度の入試の受験者数(中学卒業見込者)は、定員160人に対して254人と、過去10年間で最多。伊賀地区の受験生が全体の6割以上

就職率…卒業生の約6割が就職。毎年内定率は100%で、設計、製造施工、研究開発、品質管理、生産管理、システムエンジニアなどの分野で活躍しています。進学する卒業生は約4割で大学や専攻科に編入学しています。

教員…博士号取得者26人、修士取得者11人のほか、日本のトップ企業にいた先端技術者、技術士、大学関係者、多数の特許取得者などの教員がいます。

近大高専の名張誘致の経緯

皇學館大学社会福祉学部の撤退意向を受け、市は、間を空けずに施設を活用できるように、全国の私立大学などを対象に誘致活動を展開してきました。

平成21年に大学跡地利用法人を公募したところ、3法人から意思表示がありました。市は選定委員会を設置し、「運営の計画性」「地域への貢献度」「設置法人の状況」を総合的に判断し、交渉相手为学校法人近畿大学(近畿大学工業高等専門学校)としました。

少子化、経済不況の中、私立学校は、地方から都心にもどる傾向がある中、市は近大高専の移転を千載一遇の機会であるとして、皇學館大学から返還される土地、建物などの無償提供や財政支援を申し出るなどして交渉を進め、平成22年5月、近畿大学との間で近大高専の移転合意を締結。本年4月に開学しました。

